

仙台市議会 都市整備建設委員会委員

# 庄司としみつ 市政レポート

 地域に光  
 未来に向かって!!

## 少子高齢化社会でも安心して住み続けられる街へ

この夏も連日30度を超す、暑い日が続きました。地球温暖化が進み、大雨・異常高温など、世界各地で異常気象による災害が出ています。それに追い打ちをかけるように、ロシアのウクライナ侵略による物価高騰等、市民の皆さまにも様々な形で影響を及ぼしています。

新型コロナウイルス感染症も5月8日より5類対応となり、各地域での各種会合や夏まつり等の諸行事も通常開催となってまいりました。

特に、先日8月26日は4年振りに第41回泉区民ふるさとまつりが開催され、16万2千人の市民の皆さまのご来場がありました。花火打上げと子ども達のひと夏の思い出とともに日常活動が戻ったことがうれしく感じた次第です。

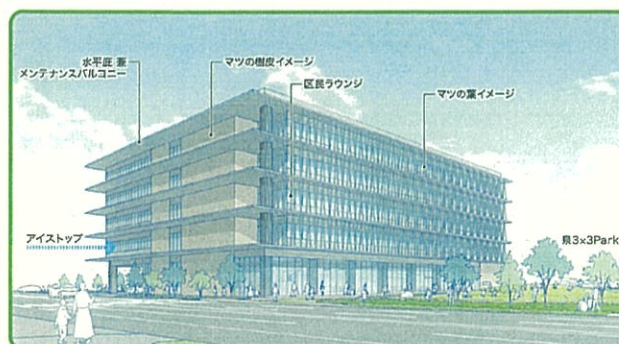
これからは社会活動も活発になり、地域経済が一日も早く元気を取り戻し、地域の皆さま方にも明るい話題が届けられるよう努力してまいります。

仙台市では、少子高齢化の進展を見据え、子育て支援の充実に努めております。さらに長寿社会における高齢者の買い物や通院など、日常生活に必要な移動手段の確保を進めていかなければなりません。公共交通とともに今後はデマンド交通やライドシェアなど、新たな地域交通の実現を目指し、高齢者が安心して住み続けられる街づくりに努めてまいります。

最後に、市民の皆さまのご健勝をご祈念申し上げます。

 としみつ  
 庄司 俊充


2023年10月から実証運行が始まる名取市デマンド交通「なとりんくる」  
従来のバスのように決まったルートが無く、利用者の予約に応じて運行する乗り合い型の交通です。自宅から病院やスーパーなどの指定乗降場所まで直接行くことができます。



### 泉区役所建て替え、令和8年完成予定

新庁舎は日常的な憩いと集いの場となり、賑わいを創出する広場と一体となる区民ホールと、泉中央地区の回遊性と乗り換えの利便性が向上する地下鉄・庁舎・広場をつなぐ通路を整備し、泉区の新たなランドマークとなる、区役所を核としたまちづくりを進めます。

※市民の皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

お問合せ先: 庄司としみつ事務所 (仙台市泉区根白石字針生13)  
 TEL 379-1432 FAX 379-2377

会派 自由民主党 (仙台市青葉区国分町三丁目7番1号)  
 TEL 214-8716 FAX 711-5687

# 仙台市議会 一般質問

## 市役所本庁舎建て替えに係る木材の利用を

問

公共建築で杜の都のシンボルとして、さらに脱炭素社会の象徴として、市役所本庁舎の建て替えに積極的に木材の活用を求めます。



▶新本庁舎イメージ

答

木材の利用は、林業の振興とともに市民の皆さま方が木と触れ合う機会の提供に資すると考えています。ロビーや、交流の場などを想定する本庁舎の低層部の整備方針として、県産材を中心とした木材等の建築資材の活用を方針としており、ライフサイクルコストも考慮し進めてまいります。

## 泉区西部地区の地域支援と地域交通の実現は

問

団塊の世代が来年にも七十五歳以上となり、運転免許の返納者も増え、さらに泉区西部地域においても日常不可欠な買い物や通院などに困っている高齢者が増えてくる。早急に地域交通の促進が求められる、急ぎべきではないか。

答

少子高齢化の進展と人口減少社会の到来を見据え、市民生活を支える路線バスとともに、地域交通が重要な役割を担うものとして認識しています。地域ニーズに応じた運行や路線バスとの役割分担の下で、地域、バス事業者、行政などが協同して地域の実情に応じた持続可能な移動手段が確保できるよう鋭意取り組んでまいります。



## 集団資源回収における奨励金の見直し支援を

問

集団資源回収は町内会の交流促進はもとより、高齢化社会の中で、独り住まいの安否確認にもなり、さらに資源リサイクルへの協力など、有意義な活動となつている。しかし、売単価が安くなり、回収総量に変化がないのに事業収入が減少となつています。このような団体に対して、市が継続に向けて奨励金の見直しなど、資源回収団体への支援を求めます。

答

集団資源回収団体への奨励金については、回収量に加えて実施回数に応じた上乘せを行っています。実施団体の減収については、古紙等の買取価格の低下等も含め、様々な変動要素があります。直ちに見直しは難しいものと考えますが、状況を見つつ広報、啓発に努めます。



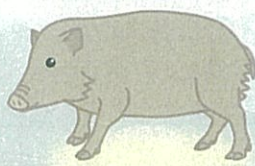
## イノシシ等獣害被害に対する対応

問

泉区西部中山間地において、イノシシによる被害が増えています。作物だけでなく、土を掘り起こすことで畦畔や傾斜地、のり面などが被害に遭い、土砂崩れや崩落なども多数発生しています。また、電気柵やメッシュ柵なども老朽化に伴い劣化しています。修理交換時期に來ているが対応は。

答

本市ではイノシシによって損傷した水路や、のり面などの農業施設につきましては、雨による崩落を招かないよう、今後その都度修繕に努めてまいります。防護柵の維持管理につきましては、地域の皆さまで行っていただくのが原則ですが、新たな取り組みとして、補修用のワイヤーメッシュ柵に係る支援経費を予算計上させていただきます。あわせて維持管理に対する補助について、国や県への要望を行っているところです。



### その他の質問

- 民生委員、児童委員の待遇改善について
- 七北田川河川改修の早期整備
- 小規模な宅地開発許可に対する対応
- 街路樹の巨木化による歩道の根上り対応
- 剪定枝のチップ化でバイオマス発電の燃料
- 熱海市の災害を踏まえた本市の盛り土対策